

## I 第12週の発生動向 (2017/3/20~2017/3/26)

- インフルエンザについては、上十三保健所管内では**警報**が、五所川原保健所管内では**注意報**が継続しています。むつ保健所管内では警報が、弘前保健所管内では注意報が解除されました。県全体では定点当たり報告数の減少が続いていますが、五所川原保健所管内では、2週続けて増加していることから引き続き注意が必要です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、第10週以降むつ保健所管内で他保健所管内より定点当たり報告数が多い状態が続いていますので、今後の発生動向に注意が必要です。

## II 第12週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青		中南		三八		西北		上北		下北		青森県計		前週からの増減
		(東地方保健所+青森市保健所)		(弘前保健所)		(三戸地方保健所+八戸市保健所)		(五所川原保健所)		(上十三保健所)		(むつ保健所)				
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ	70	5.38	120	8.00	71	4.73	97	13.86	156	17.33	27	4.50	541	8.32	-140
小児科	RSウイルス感染症							1	0.20					1	0.02	-2
	咽頭結膜熱	1	0.13	3	0.33	1	0.10			1	0.17			6	0.14	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.88	28	3.11	14	1.40	9	1.80	12	2.00	19	4.75	97	2.31	-6
	感染性胃腸炎	29	3.63	8	0.89	18	1.80	20	4.00	5	0.83	9	2.25	89	2.12	-28
	水痘	1	0.13	1	0.11			2	0.40	5	0.83	1	0.25	10	0.24	1
	手足口病					4	0.40			1	0.17			5	0.12	-1
	伝染性紅斑	4	0.50							2	0.33	1	0.25	7	0.17	-3
	突発性発しん	3	0.38	5	0.56	4	0.40			5	0.83			17	0.40	1
	百日咳															0
眼科	ヘルパンギーナ					1	0.10							1	0.02	1
	流行性耳下腺炎									5	0.83	6	1.50	11	0.26	4
基幹	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-3
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											4	4.00	4	0.67	3
無菌性髄膜炎															0	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00			2	2.00	3	0.50	0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

# 感染症の窓

## 伝染性紅斑 (五類定点把握疾患)

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 による感染症で、患者は幼少児 (2~12 歳) が多く、乳児、成人が罹患することもあります。

皮膚の発しんを主症状とし、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれ、咳をしたときのしぶきやウイルスが付着した手で口や鼻に触れることにより感染します。

多くの場合、頬に発しんが出現する 7 日~10 日前に微熱やかぜのような症状が見られ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し感染力もほぼ消失します。

特別な治療法はなく、ほとんどが自然に回復しますが、妊婦が感染した場合には赤ちゃんが胎児水腫という病気になることがまれにあるので、妊婦健診などをきちんと受けましょう。

2017 年の青森県内における定点当たり患者報告数は第 7 週をのぞき全国平均を上回っています(図)。第 11 週からは 2 週連続して減少しましたが、依然として全国平均を上回っていることから、今後の発生動向に注意が必要です。予防には手洗い、うがい、咳エチケットが有効です。

○関連情報はこちらをご覧ください→[厚生労働省 HP \(わかりやすい感染症 Q&A 伝染性紅斑\)](#)

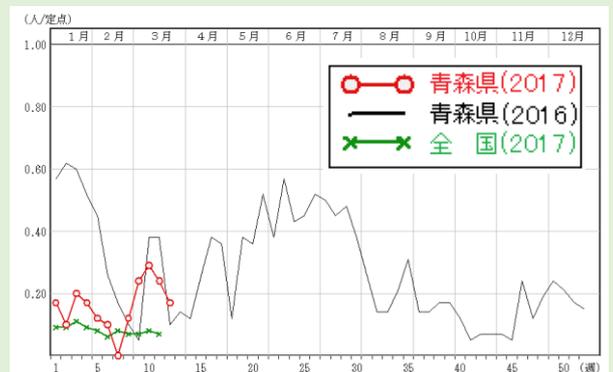


図 伝染性紅斑 定点当たり報告数 (2017年青森県 2016年青森県 2017年全国)

### Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：五所川原6人、上十三6人 (2017年計:81人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患)：五所川原1人 (2017年計:3人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2017年計:16人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、2/17~2/21)・・・ヒトライノウイルスC及びヒトメタニューモウイルス：むつ1人、ヒトライノウイルスC：八戸市1人
- ・下気道炎患者(鼻汁、2/9~2/17)・・・ヒトライノウイルスC：青森市1人、ヒトメタニューモウイルス：むつ1人
- ・結膜炎患者(咽頭ぬぐい液、2/27)・・・ヒトライノウイルスC：八戸市1人
- ・麻しん疑い患者(血液、3/15)・・・HHV7：八戸市1人

### Ⅴ 県内インフルエンザ情報(2016年第47週~2017年第12週)

- ・第12週の患者報告数は541人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは529人【A型：503人、B型：26人】でした。
- ・患者報告数は引き続き減少していますが、年齢区分別報告数を見ると、70~79歳が前週の21人から39人に増加した他、30~39歳、50~59歳、80歳以上でも報告数が前週より増加しました。

保健所管内別報告数(人)

週	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
東地方+青森市	0	4	11	18	23	24	72	99	193	244	370	435	372	336	294	151	100	70
弘前		3	6	12	11	37	63	128	211	370	336	290	183	111	123	153	152	120
三戸地方+八戸市	2	8	7	10	12	55	45	74	176	363	412	384	287	209	219	205	122	71
五所川原	3	2	17	55	51	115	90	143	138	143	160	223	127	55	52	52	80	97
上十三	8	35	30	47	39	74	149	164	229	343	330	346	278	189	133	124	160	156
むつ	3	1	1	2		41	47	35	81	189	335	284	255	177	157	125	67	27
合計	16	53	72	144	136	346	466	643	1028	1652	1943	1962	1502	1077	978	810	681	541

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
東地方+青森市	0	4	10	18	22	24	68	94	186	232	365	427	362	322	290	146	96	64
弘前		3	6	12	11	37	63	127	211	370	336	289	183	111	122	152	146	115
三戸地方+八戸市	2	8	7	10	12	54	44	73	168	333	362	364	268	201	212	195	114	63
五所川原	3	2	16	55	51	115	89	143	138	143	160	223	127	55	51	52	80	96
上十三	8	35	29	45	37	74	148	158	206	325	311	326	251	172	111	112	145	140
むつ	3	1	1	2		39	47	34	81	189	334	282	255	177	152	123	63	25
合計	16	53	69	142	133	343	459	629	990	1592	1868	1911	1446	1038	938	780	644	503

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
東地方+青森市			1		1		2		3	1	1	1		2		2	2	4
弘前												1			1	1	6	5
三戸地方+八戸市						1		1	5	7	20	5	5	4		6	4	7
五所川原							1								1			1
上十三			1				1	1	6	1	3	3	5	10	11	4	9	7
むつ						2		1			1	2			5	2	4	2
合計	0	0	2	0	1	3	4	3	14	9	25	12	10	16	18	15	25	26

年齢区分別(人)

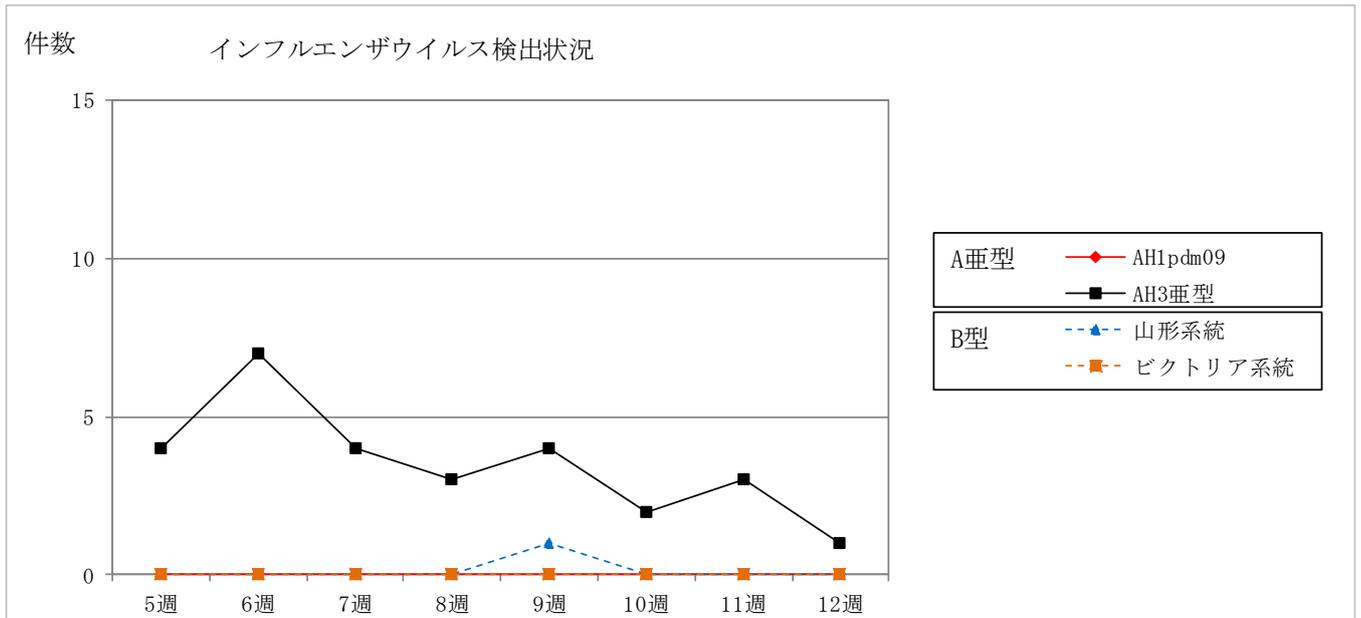
週	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
~5ヶ月					1	2	2	2	4	5	6	4	3	3	5	2	3	1
~11ヶ月					2		7	6	13	9	15	15	18	10	4	7	10	9
1歳	1		1	1	2	5	6	18	35	42	62	64	49	44	32	12	41	14
2歳			4	3	4	6	14	20	27	39	46	87	59	39	33	22	25	16
3歳		2	4	8	7	7	11	21	51	53	77	99	73	48	52	31	36	15
4歳		1	3	1	3	3	7	25	36	65	83	81	80	60	37	52	29	26
5歳			1	5	3	14	13	22	40	77	68	83	69	72	53	33	30	23
6歳	1	2	5	7	2	8	8	23	42	47	92	84	82	81	47	52	37	23
7歳		4		5		4	13	11	35	78	83	98	68	32	50	23	43	21
8歳	1	2		5	4	9	6	8	38	80	93	94	83	46	38	27	23	21
9歳	1	5	2	5	5	7	6	9	46	85	96	95	80	53	48	44	29	15
10~14歳	5	10	18	32	24	57	32	49	157	428	475	431	257	189	194	135	103	80
15~19歳	1	6	8	35	13	29	32	40	97	162	152	115	75	46	66	48	34	29
20~29歳	1	3	1	7	8	44	58	67	59	56	67	93	81	43	30	38	28	19
30~39歳	1	2	5	8	11	30	61	64	88	104	117	108	90	75	59	57	54	55
40~49歳	1	5	13	4	14	29	50	53	62	90	124	123	82	60	50	52	41	40
50~59歳	1	5	4	8	11	23	44	59	58	71	78	95	86	65	54	38	24	28
60~69歳	1	5	2	5	10	23	44	50	46	55	90	78	72	47	45	54	35	31
70~79歳				3	4	20	23	48	38	51	66	49	41	24	37	37	21	39
80歳以上	1	1	1	2	8	26	29	48	56	55	53	66	54	40	44	46	35	36

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2017								直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計
		5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週		
提出検体数		6	10	4	3	5	2	5 (1)	5 (4)	20 (5)	76 (5)
A 亜型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	AH3亜型	4	7	4	3	4	2	3	1	13	54
B 型	山形系統	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	ビクトリア系統	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		4	7	4	3	5	2	3	1	14	56

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第9週～2017年第12週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
9	H29.2.27 ~ H29.3.5	侵袭性肺炎球菌感 染症1人 アメーバ赤痢1人					
10	H29.3.6 ~ H29.3.12			レジオネラ症1人		A型肝炎1人 梅毒1人	
11	H29.3.13 ~ H29.3.19			梅毒2人		梅毒1人	
12	H29.3.20 ~ H29.3.26		梅毒1人		レジオネラ症1人		

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2017年第9週～2017年第12週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
9	H29.2.27 ~ H29.3.5	1				1	
10	H29.3.6 ~ H29.3.12		3	1	2		
11	H29.3.13 ~ H29.3.19	1	2		5	2	
12	H29.3.20 ~ H29.3.26				6	6	

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第11週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病	ジカウイルス感染症
累積報告数	4300	35	146	5	3	81	50	6	2	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	1	1	38	38	5	1	1	8	1	188

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	2	235	59	285	180	32	122	266	9	88

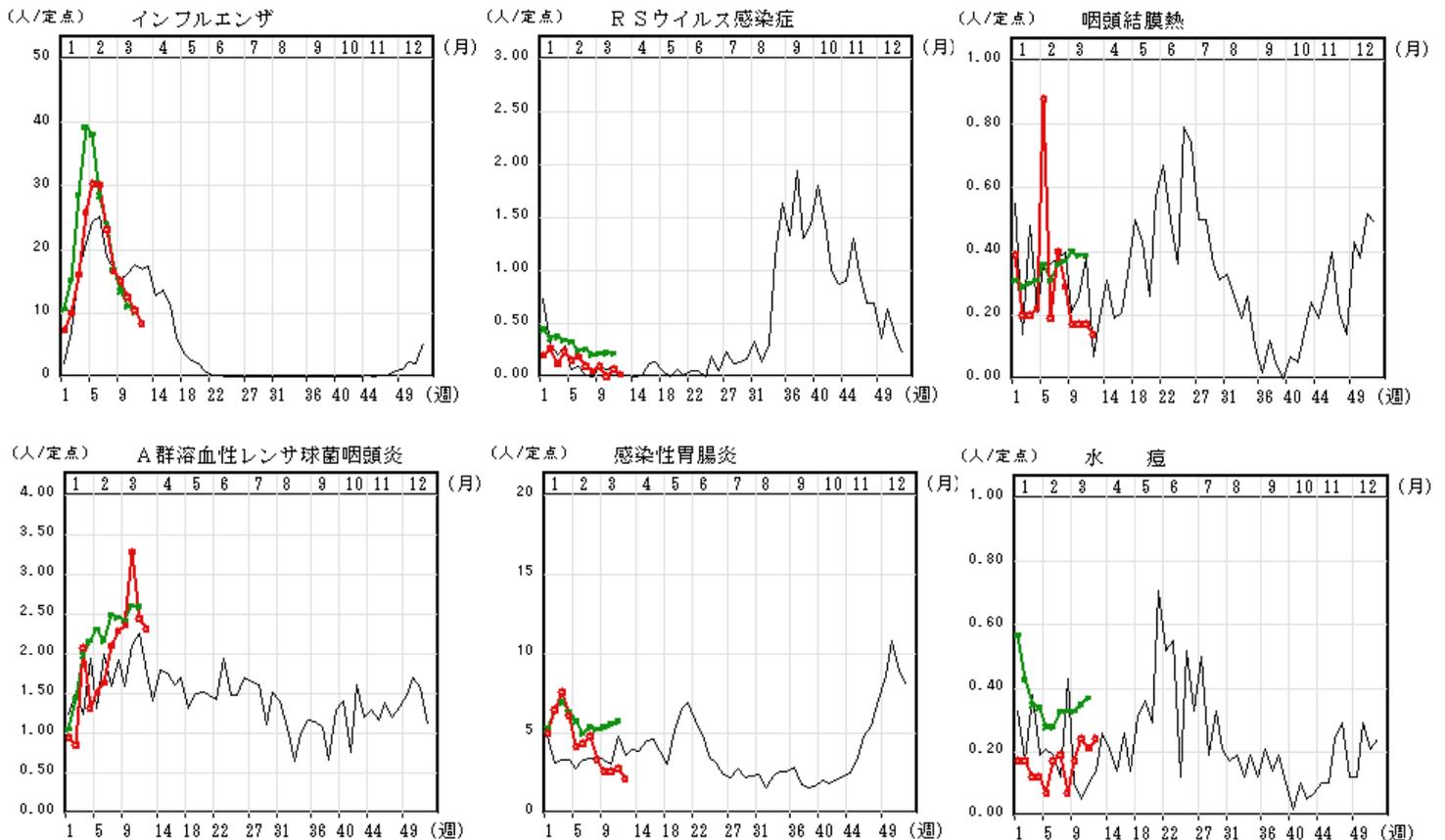
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	5	780	50	926	28	9	22	16	59	8

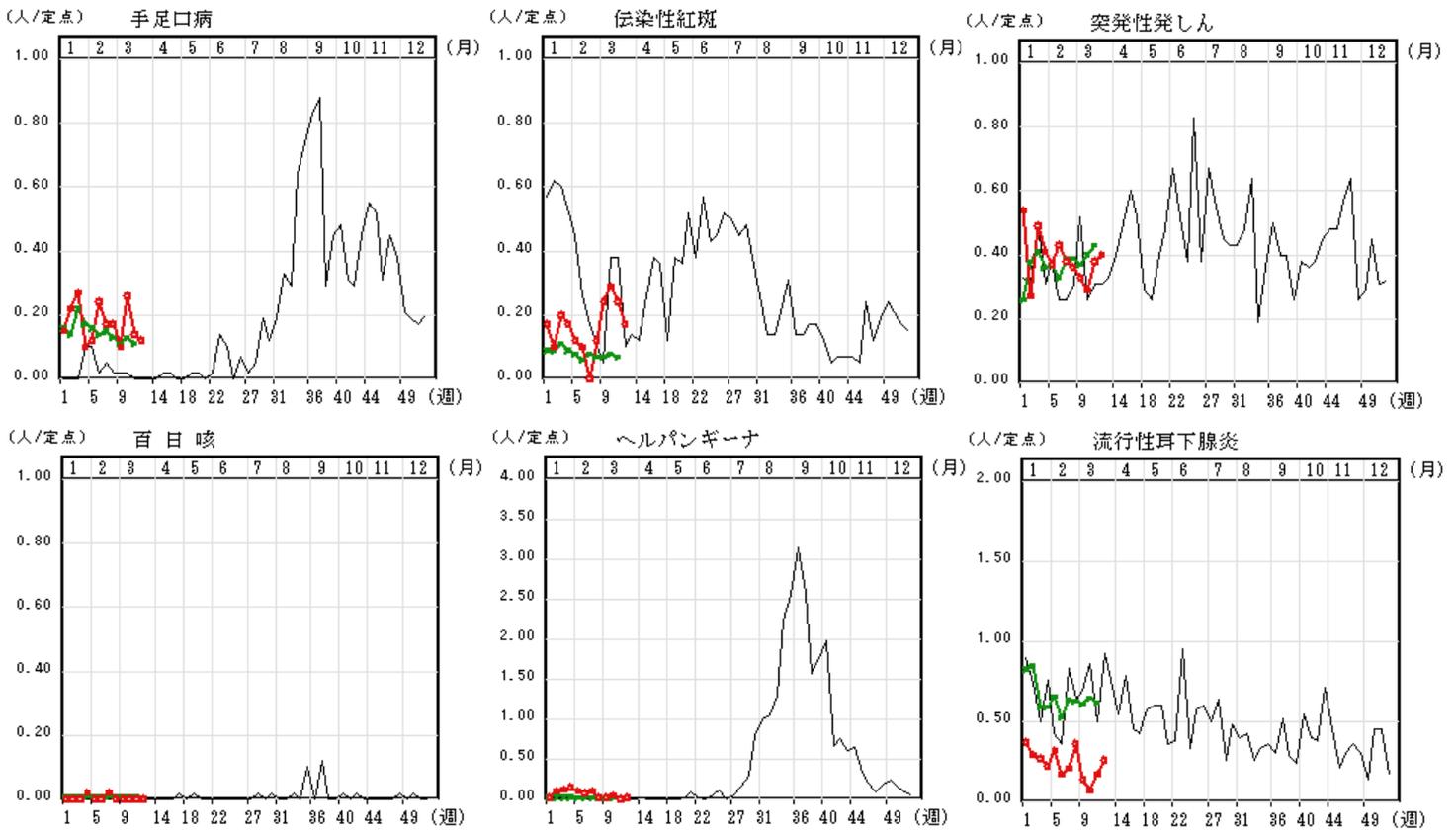
青森県（2017年第12週累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	81	2	2	1	3	2	2	1	1	2	16

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第12週、ただし全国は前週）

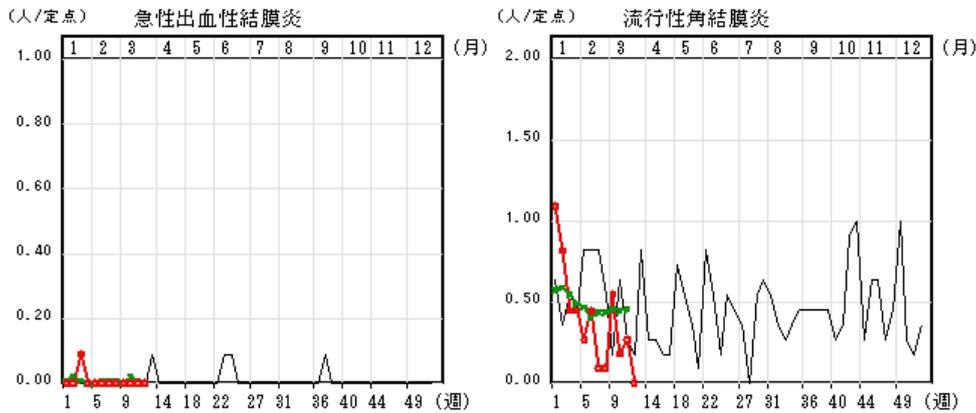
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





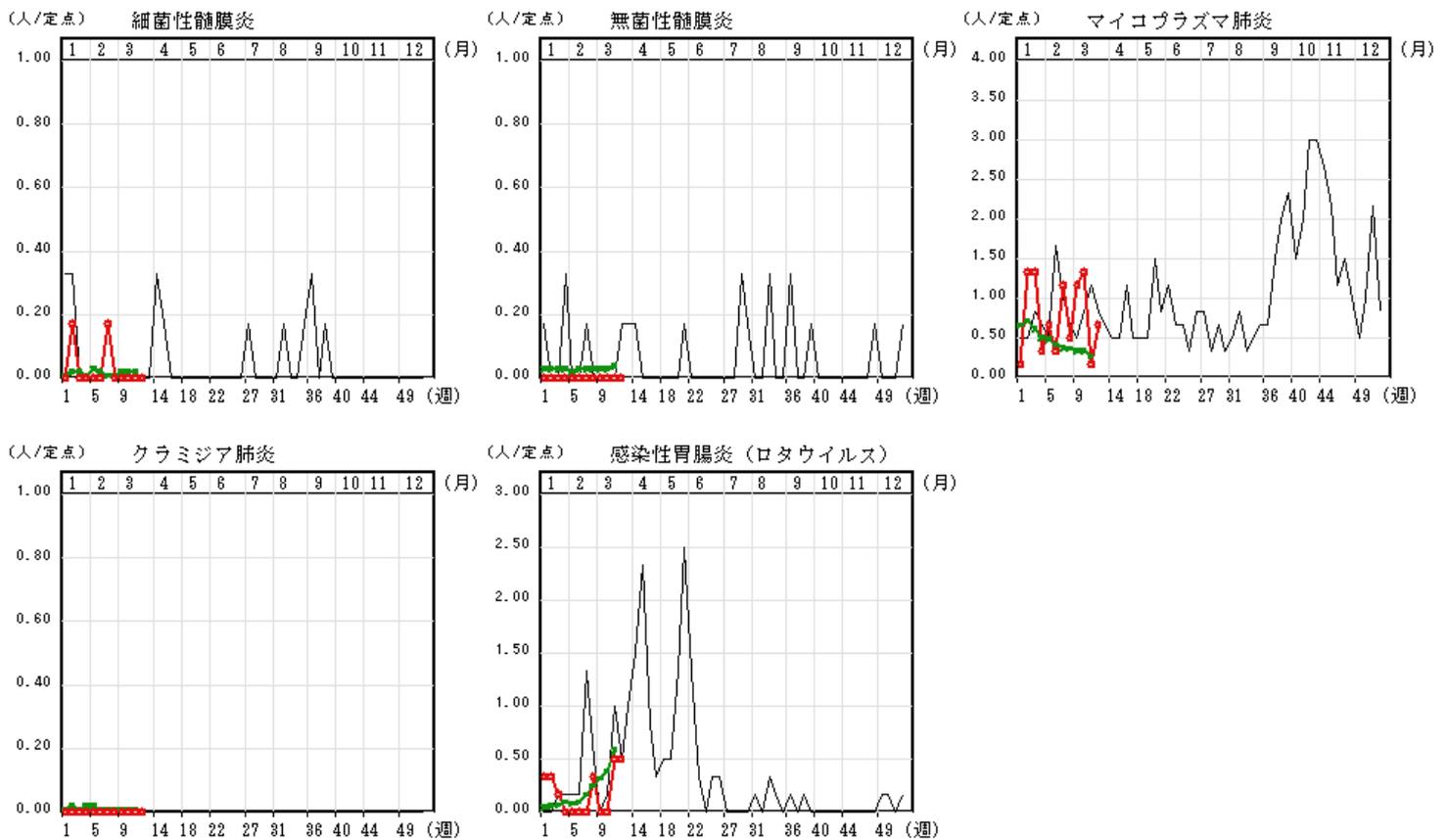
XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第12週、ただし全国は前週)

グラフの説明  $\circ$ — $\circ$ は2017年青森県、—は2016年青森県、 $\times$ — $\times$ は2017年全国



XII 基幹定点把握疾患週別推移（2017年第12週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第12週  
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月						計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	10週	11週	12週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	0	0	4
	発症者数	13	48	14	0	0	0	75
障害関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	1
	発症者数	0	43	0	0	0	0	43
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	0	0	0	6
	発症者数	13	103	14	0	0	0	130